

令和4年度草津市水道事業報告書

(1) 概況

イ 総括事項

本市の水道事業においては、今後の水道事業の課題と新たな社会情勢の変化や水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、「第2次草津市水道ビジョン〔経営計画（経営戦略）〕」を策定し、令和4年度からスタートしました。

本年度は、災害時においても安定して水を提供できるよう、施設面では、北山田浄水場配水池の耐震工事およびロクハ浄水場新館の浸水対策工事を実施し、管路面では、管路の更新工事にあわせて耐震化を進めました。

組織体制面では、熟練者から若年者への内部研修の実施や各種外部研修への参加などにより、技術継承を図りました。

経営面では、電気代の高騰など、予期せぬ経費の負担が発生しましたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、一般会計からの支援を受けつつ、水道利用者へのサービス水準を落とすことなく、当期純利益を確保し、水道料金の10%還元を継続実施しました。

今後も、物価高騰による影響を鑑みながらも、施設の耐震・浸水、管路の更新等の対策を遅れることなく実施しつつ、より一層効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組むとともに、水道水の安全性とおいしさのPRを行うなど、本市の水の啓発と利用促進にも努めてまいります。

(給水および業務状況)

本年度の給水状況としましては、年間配水量は約1,631万 m^3 で前年度比0.6%増、有収水量については約1,575万 m^3 で前年度比0.8%減、有収率は前年度より1.3ポイント減少し96.6%となりました。

依然、全国平均を上回る有収率を維持しており、引き続き、主要配水管を対象とした漏水調査や、計画的な老朽管更新を進めてまいります。

収益的収支の状況については、収益額が24億6,385万9,243円、費用額が21億4,061万2,328円で、差引3億2,324万6,915円の純利益を計上しています。この未処分利益剰余金については、減債積立金に1億6,162万円を積み立て、1億6,162万6,915円を建設改良積立金に積み立てる予定です。

一方、資本的収支については、収入額2億1,727万6,219円に対し、支出額は15億3,732万6,490円となり、差引13億2,005万271円の不足が生じました。この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,835万3,412円、減債積立金1億3,940万円、建設改良積立金3億6,758万3,474円ならびに損益勘定留保資金7億1,471万3,385円で補てんしました。

また、ロクハ浄水場新館高度処理施設電気設備改修工事他3件については、地方公営企業法第26条第1項の規定により9,265万2千円を令和5年度に繰り越しました。

なお、水道事業のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、4,464万8,580円となっています。

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	増減比率	
給水件数	36,237件	35,806件	431件	1.2%	
配水量	総 量	16,313,500 m^3	16,208,545 m^3	104,955 m^3	0.6%
	一日最大	49,171 m^3	47,895 m^3	1,276 m^3	2.7%
	一日平均	44,695 m^3	44,407 m^3	288 m^3	0.6%
有収水量	15,754,588 m^3	15,876,248 m^3	Δ 121,660 m^3	Δ 0.8%	
有 収 率	96.6%	97.9%	Δ 1.3%	—	